理研会報

発行
印教研理科研究部
事務局
成田市立成田小学校
成田市幸町948－1

印教研集会を前に

印教研理科研究部長　佐倉東小学校長　石井　望

平成六年度も、早、半ばを過ぎようとしています。研究部員の皆さんには、運動会に、諸行事に忙しい毎日をお過ごしのことと存じます。

前部長、牧野隆先生の後を受けて、理科研究部長という大役をお引受けいたすこととなりました。大変な役を引受けしてしまったと身のすくむ思いをしている次第です。

昨年度、牧野前部長さんを中心に、部員の皆様の協力により、千葉県理科研究大会「印旛大会」を佐倉小学校・佐倉中学校を会場に開催し、大成功を納めました。

この成功は、印旛理科研究部の結集力の強さを県内に示し、大きな評価を得ました。また、本研究部の活動は、他支部の注目するところです。

これは、営々と築いてこられた先輩諸氏のご努力により、すばらしい伝統として引き継がれているものだと考えます。

この理研会報にしてもしかりです。今では、ほとんど使われなくなった、Cプリントあるいは B プリントの蠟原紙に鉄筆で筆稿し謄写版印刷でした。現在、成田市の教育長をなさっておられる中村欽哉先生が長い間担当され、その後、現在、印西町教育委員をなさっておられる武藤喜正先生に引き継がれ、数々の先生方の手をわずらわせながら現在では二百三十六号を数えるにいたりました。

教育研究集会も、当初は、個人研究の発表が多く、現在では、部会ごとのグループ研究の発表の場となり、部会をあげての共同研究が定着し、研究の広がりが出て参りました。しかし、当時は、討論が激しく行われましたが、その点現在を見てみますと、発言が少なく、寂しい思いをしているところです。

さて、中学校においては、新指導要領実施二年目を迎えました。また、小学校の生活科もある程度定着してきたように見受けられます。子どもの意欲・関心・態度を重視した、児童・生徒の主体的な学習を進めるための研究を益々深めていただきたいものです。また、教育研究集会の中でも討議し前進していきたいものです。

最近、理科離れがよく話題となっています。理科学習が児童・生徒に楽しさと感動を与える学習にしたいものです。

終わりに、本年度、印教連研究指定校の印西町立小林小学校が、十一月一日（火）二年間の研究の成果を公開致します。本理科研究部も支援して参りました。多くの方々の参加をお願い致します。

平成六年度　印教研理科研究部　研究テーマ

〈研究主題〉

子どもたちが興味を持ち、主体的に参加する理科学習は、どのようにすればよいか。

〈主題設定の理由〉

身のまわりには自然がたくさんあるが、その自然を利用しての理科学習が行われているかということになると課題が多く残る現状である。

子どもたちが自然を見つめ、自然の中にとけこんでいく中で、自然を自分の身体で受け止め、感じ取れるような理科学習であろうと努力している。

自然に直接働きかけながら観察実験を行い、それを調べる態度や技能をどう育てていけばよいか、指導法・教材の選択などを考えていきたい。

平成六年度　理科研究部役員一覧

◎理科研究部長
・石井　望（佐倉東小）

◎理科研究副部長
・佐藤光廣（佐倉小）
・河邉久男（南山中）

◎各部会理科研究部長
＊一部会部長
・大野尊史（内郷小）
＊二部会部長
・阿波嵜　守（富里中）
＊三部会部長
・松田治久（印西中）
＊四部会部長
・清水龍彦（八街中央中）
＊五部会部長
・森　成雄（八木原小）

◎理事
一部会
・今井正臣（根郷小）
・石井　望（佐倉東小）
・吉井猛彦（酒々井小）
・石田政光（印南小）
・間宮哲人（内郷小）
・佐藤光廣（佐倉小）
・佐藤久司（井野小）
・斉藤政勝（井野中）
・飯田和宏（佐倉小）
・大野尊史（内郷小）
・杉山栄一（井野中）
・佐久間保男（佐倉小）
二部会
・伊藤忠夫（日吉台小）
・木川　香（久住一小）
・宮本久男（成田中）
・小林　茂（富里中）
・林田孝二（栄中）
・阿波嵜　守（富里中）
三部会
・佐藤幸納（大森小）
・久本邦夫（六合小）
・牧野　隆（印西中）
・今井和彦（小林中）
・本橋茂次（南山中）
・河邉久男（南山中）
・伊藤久男（大森小）
・松田治久（印西中）
四部会
・京相光徳（朝陽小）
・古嶋美文（八街中）
五部会
・安井寅蔵（吉岡小）
・荒木昭夫（大日小）
・小山　治（四和小）
・加藤弘明（旭中）
・森　成雄（八木原小）

◎幹事
・岩井　睦（成田中）
・深山民夫（成田小）

平成六年度　今後の事業

・九月十六日
研究員集会（成田中学校）
・九月二十一日～二十四日
理科作品展（成田中学校）
・十月四日
印教研集会（成田小学校）
＊年間『理研会報』の発行
＊研究学校への協力
印教連指定
印西町立小林小学校

お知らせ

理科作品展は別記の通り成田中学校を会場に行います。二十三日（祝日）も公開展示いたします。よい機会ですので、児童・生徒にもお知らせください。

＝編集後記＝

理研会報第二三六号を、お届けいたします。

今回は、理科研究部の役員を掲載いたしました。

今後の発行予定といたしましては、印教連指定研究学校の研究経過や先生方の実践報告を掲載していきたいと思っております。ご協力よろしくお願いいたします。

印教研　理科研究部事務局

☆投稿等につきましては、各部会部長にお尋ね下さい。